

平成 1 6 年度  
流通サプライチェーン全体最適化促進事業

< 実証実験 >

環境設定書  
別紙「ビジネスモジュールコマンド説明書」

平成 1 7 年 3 月  
日本電気株式会社

改版履歴

日付	版数	改版内容
2005 年 3 月 31 日	初版	新規

実証実験統括責任者  
日本電気株式会社 ： 曾根田 雄一

検 印

## 目 次

1. はじめに .....	1 - 1
2. コマンドの概要 .....	2 - 1
3. コマンドの詳細 .....	3 - 1
3.1 startbpc .....	3 - 1
3.1.1 書式 .....	3 - 1
3.1.2 説明 .....	3 - 1
3.1.3 関連 .....	3 - 1
3.2 stopbpc .....	3 - 2
3.2.1 書式 .....	3 - 2
3.2.2 説明 .....	3 - 2
3.2.3 関連 .....	3 - 2
3.3 bpc-console .....	3 - 3
3.3.1 書式 .....	3 - 3
3.3.2 説明 .....	3 - 3
3.3.3 関連 .....	3 - 3
3.4 traceinfo .....	3 - 4
3.4.1 書式 .....	3 - 4
3.4.2 説明 .....	3 - 4
3.4.3 例 .....	3 - 4
3.5 event .....	3 - 5
3.5.1 書式 .....	3 - 5
3.5.2 説明 .....	3 - 5
3.5.3 例 .....	3 - 6
3.5.4 関連 .....	3 - 6
3.6 showmessage .....	3 - 7
3.6.1 書式 .....	3 - 7
3.6.2 説明 .....	3 - 7
3.6.3 例 .....	3 - 7
3.6.4 関連 .....	3 - 7
3.7 purge .....	3 - 8
3.7.1 書式 .....	3 - 8
3.7.2 説明 .....	3 - 8
4. ライセンス .....	4 - 1

## 1. はじめに

本書では、ビジネスモジュール(以降、BM と記する)で使用するコマンドについて概要を説明する。本書が対象とする読者は、BM が稼動するシステムの管理者、および実際に BM の操作を行うオペレータである。

## 2. コマンドの概要

BM のコマンドは、\$BPC\_HOME/bin 以下に格納されている。これらのコマンドを使用して BM の起動や停止、イベントスケジューラの起動や停止等を行うことができる。以下に、Windows 環境および Solaris 環境で利用できる BM のコマンドの一覧を示す。

表 2.1 定義ファイル一覧

コマンドの機能	コマンドファイル名	
	Windows	Solaris
BM の起動	startbpc.cmd	startbpc
BM の停止	stopbpc.cmd	stopbpc
イベントスケジューラの起動停止	bpc-console.cmd	bpc-console
トレース情報の表示	traceinfo.cmd	traceinfo
イベントの管理	event.cmd	event
BpcMessage の確認	showmessage.cmd	showmessage
テーブルのパージ	purge.cmd	purge

### 3. コマンドの詳細

BM で使用する各コマンドの詳細について説明する。なお、利用に当たってコマンドの実行ファイルが格納されているディレクトリが実行ファイル検索パスに含まれていること、コマンドの実行権限を有するユーザからの実行であることを前提とする。

#### 3.1 startbpc

BM を起動する際に使用するコマンドである。

##### 3.1.1 書式

startbpc

##### 3.1.2 説明

BM を起動する。

BM を起動する前にデータベースのサービスが起動完了している必要がある。

起動が完了すると、以下のメッセージが出力される。

<2004/12/03 17 時 25 分 23 秒 JST> <Notice> <WebLogicServer> <BEA-000355> <スレッド " ListenThread.Default" は IP アドレス *.* のポート 7001 をリスンしています。>
--

##### 3.1.3 関連

stopbpc, bpc-console

## 3.2 stopbpc

BM を停止する際に使用するコマンドである。

### 3.2.1 書式

stopbpc

### 3.2.2 説明

BM を停止する。

### 3.2.3 関連

startbpc, bpc-console

### 3.3 bpc-console

イベントスケジューラーを起動、停止する際に使用するコマンドである。

#### 3.3.1 書式

bpc-console 副コマンド指定

#### 3.3.2 説明

副コマンド指定には以下のものが指定できる。

scheduler\_start イベントスケジューラーを開始する。

scheduler\_kill イベントスケジューラーを強制終了する。

scheduler\_stop イベントスケジューラーを通常終了する。

#### 3.3.3 関連

startbpc, stopbpc



### 3.4 traceinfo

トレース情報を表示する際に使用するコマンドである。

#### 3.4.1 書式

traceinfo 伝票番号

#### 3.4.2 説明

指定した伝票番号の明細行のトレース情報を出力する。

#### 3.4.3 例

( 1 ) 通常時～発注から受領まで、何の問題も発生しない場合

コンテキスト ID: fff41d80c0a80303017df8d1bfc525d4, 伝票番号: 3232561, 明細番号: 1			
2004-11-01 21:18:58.0	fff412e2c0a80303019d0cb7b6b7b6e4	発注側 BM	発注
2004-11-01 21:27:40.0	fff412e2c0a80303019d0cb7b6b7b6e4	受注側 BM	ASN
2004-11-01 21:33:05.0	fff41d80c0a80303017df8d1bfc525d4	発注側 BM	受領

( 2 ) 欠品、数量変更～出荷時 ASN で、明細番号 1 で数量の変更が発生し、検品時受領時に、明細番号 2 の明細が欠落した場合

コンテキスト ID: fff41d80c0a80303017df8d1bfc525d4, 伝票番号: 3232561, 明細番号: 1				
2004-11-01 21:18:58.0	fff412e2c0a80303019d0cb7b6b7b6e4	発注側 BM	発注	
2004-11-01 21:27:40.0	fff412e2c0a80303019d0cb7b6b7b6e4	受注側 BM	ASN	変更(数量:128->64)
2004-11-01 21:33:05.0	fff412e2c0a80303019d0cb7b6b7b6e4	発注側 BM	受領	
コンテキスト ID: fff41d80c0a80303017df8d1bfc525d4, 伝票番号: 3232561, 明細番号: 2				
2004-11-01 21:18:58.0	fff412e2c0a80303019d0cb7b6b7b6e4	発注側 BM	発注	
2004-11-01 21:27:40.0	fff412e2c0a80303019d0cb7b6b7b6e4	受注側 BM	ASN	
2004-11-01 21:33:05.0	fff412e2c0a80303019d0cb7b6b7b6e4	発注側 BM	受領	削除

( 3 ) 分納～1回の発注に対して ASN が 2 回に分かれた場合

コンテキスト ID: fff41d80c0a80303017df8d1bfc525d4, 伝票番号: 3232561, 明細番号: 1			
2004-11-01 21:18:58.0	fff412e2c0a80303019d0cb7b6b7b6e4	発注側 BM	発注
2004-11-01 21:27:40.0	fff412e2c0a80303019d0cb7b6b7b6e4	受注側 BM	ASN
コンテキスト ID: fff41d80c0a80303017df8d1bfc525d4, 伝票番号: 3232562, 明細番号: 1			
2004-11-01 21:18:58.0	fff412e2c0a80303019d0cb7b6b7b6e4	発注側 BM	発注
2004-11-01 21:27:40.0	fff412e2c0a80303019d0cb7b6b7b6e4	受注側 BM	ASN
2004-11-01 21:33:05.0	03017df8d1bfc525d4fff41d80c0a803	発注側 BM	ASN

コンテキスト ID は BM が送受信メッセージを識別するために、BM が独自に作成し使用しているユニーク ID である。

### 3.5 event

イベントの一覧表示、イベントのキャンセル、実行、削除を行う際に使用するコマンドである。

#### 3.5.1 書式

event コマンド [コマンド引数]

#### 3.5.2 説明

コマンドと引数は以下のものが指定できる。

show [-status ステータス名] [-nostatus ステータス名] イベントの一覧を表示する。

cancel イベント ID 指定イベントのキャンセルを行う

force イベント ID 指定イベントを直ちに実行する

delete イベント ID 指定イベントを削除する

ステータス名には以下のものが指定できる:

PLANNED : イベントのインスタンス作成直後

ACTIVATED : BpcDocument が設定された

WAIT : 実行待ち

RUNNING : 実行中

COMPLETED : 完了

CANCELED : キャンセル

EXPIRED : 開始タイムアウト

ERROR\_EXITED : エラーで終了した

RECEIVED\_SIGNAL : 送信先からの Exception シグナルを受信し終了した

WAIT\_FOR\_RETRY : リトライ待ち

WAIT\_FOR\_SIGNAL : 送信先からのシグナル受信待ち

DIRTY : 通信処理・業務への通知が完了したか不明

### 3.5.3 例

以下にイベント一覧出力の例を示す。

```
イベント ID: 0050a48cc0a80303001ae40fcd9bb6c2
イベント名: AcceptOrderEvent
ステータスコード: 完了
プロセスフロー名: ordering
プロセス起動予定時刻: 2004-11-19 20:43:09.0
異常終了ステータスコード: 未処理
送信ステータスコード: 未送信
キャンセルフラグ: 未キャンセル
-----
イベント ID: 0050a48cc0a8030301c93cf597eee6a9
イベント名: SendOrderEvent
ステータスコード: 完了
プロセスフロー名: ordering
プロセス起動予定時刻: 2004-11-19 20:43:09.0
異常終了ステータスコード: 未処理
送信ステータスコード: 送信終了
キャンセルフラグ: 未キャンセル
-----
```

各項目に表示される内容を以下に示す。

#	内容	意味	備考
1	イベント ID	イベントを識別するための ID	
2	イベント名	BM 内部でのイベント名。 通常は、Accept/Receive/Notice/Send + 業務名 + Event という文字列になる	
3	ステータスコード	そのイベントのステータス名（前述）状態を表す。	
4	プロセスフロー名	このイベントが属する、標準 SCM モデルにおけるプロセスフロー名	
5	プロセス起動予定時刻	BM スケジューラが BM にイベント実行を指示する予定時刻	
6	異常終了ステータスコード	イベントが正常に終了した場合、“未処理”が出力される。 異常終了時は、イベントが再実行可能かを表す“リトライ可”、“リトライ不可”が出力され、イベントの実行が本コマンドで cancel を実行された場合、“キャンセル”が出力される。	
7	送信ステータスコード	イベント名が Accept または Receive で始まるものの場合は、常に“未送信”が出力される。 Notice または Send で始まる場合は、“未送信”、“送信中”、“送信終了”が出力され、業務アダプタまたは通信サーバへのデータ送信処理のステータスを表す。	
8	キャンセルフラグ	イベント名が Accept または Receive で始まるものの場合は、“未キャンセル”が出力される(これらのイベントのキャンセルはできない)。 Notice または Send で始まる場合は、“未キャンセル”、“キャンセル済み”が出力され、業務アダプタ/通信サーバにデータへの送信に対するキャンセルが行われたか否かを表す。	

### 3.5.4 関連

showmessage

## 3.6 showmessage

送受信したメッセージ内容 (XML メッセージ) を表示する際に使用するコマンドである。

### 3.6.1 書式

showmessage イベント ID

### 3.6.2 説明

指定したイベント ID のイベント情報およびそのイベントで扱ったメッセージ内容を表示する。

### 3.6.3 例

以下に出力の例を示す。

以下の例では XML メッセージ内容を表示する部分を、紙面の都合上省略している。

```
#### Event ###
タイプ:即時実行イベント
イベント ID:00979b93c0a802830083ca2702e27fda
プロセスフロー名:ordering
イベント名:SendOrderEvent
ロール:buyer
起動時刻:2004-12-03 15:26:24
タイムアウト秒:180
ステータス:COMPLETED
起動開始時刻:2004-12-03 15:26:23

#### Context ####
コンテキスト ID:00979b92c0a8028300baa6baed596c72
コラボレーション ID:SLFTST

#### BpcDocument ####
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<BpcDocument>
(ここにメッセージ内容が表示される。紙面の都合上、省略)
</BpcDocument>
```

### 3.6.4 関連

event

### 3.7 purge

BM で使用するデータベース・テーブルの行を削除する際に使用するコマンドである。

#### 3.7.1 書式

purge テーブル名 日付(YYYYMMDDhhmmss)

#### 3.7.2 説明

指定した日付以前のデータが削除される。

テーブル名は以下のものが指定できる。

event イベント管理

trace\_info トレース情報

context\_info コンテキスト情報

#### 4. ライセンス

本製品に関する利用許諾条件に関しては、本体に添付のソフトウェア使用許諾契約書を参照してください。

本製品が使用しているソフトウェアのライセンスに関して

"This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>)".

"This product includes software developed by The ExoLab (<http://www.exolab.org/>)".

"This product includes software developed by James House (<http://http://www.quartzscheduler.org/>)".

本製品で利用しているその他のソフトウェアのライセンスに関してはインストール媒体の license¥Readme.txt を参照してください。